



「秋山仁先生による中学校2年生を対象にした数学特別授業」
生徒はこれまでにない授業に目からウロコの様子

また、学生の指導力アップのために1日リーダー養成会を年間数回開催しています。東京工業大学の科学教室活動をしているサイエンステクノの部員学生はじめ、東大、早稲田、青山学院、中央大学など多数の大学生、高校生が参加してくれていて、彼らから情報をもったり、科学教室など学生が活躍する場も作っています。同じく目黒区にあるNPO法人目黒ユネスコ協会とも東北大地震の教育支援をきっかけに強固なつながりが

できています。3. リアルサイエンス—そのユニークさと困難さ NPO活動は予算や人材確保など不安定な要素が多く、恐らく他の団体でも苦労がおりかと思えますが、我々もご他聞に漏れずです。教育支援の活動で収益を上げていくべきところで、現在は科学技術や科学教育を支援する東芝のサポートがあつて成り立っています。ユニークな点は東芝が資金援助するだけではなく、社長や取締役をはじめ、社会貢献、CSR推進室の方々が私たちと共に現場に赴き体験型理科教育の普及に努め、また科学教育に関心のある社員の方々がボランティアとして関わること、NPOと企業のコラボでこれまでやってきました。学校教育支援には確かな指導力、ユニークな教材、多彩な講師陣を揃えて出向きますが、このような活動はリアルサイエンスの多彩な理事の先生方が自ら動くという組織風土があつてで

【ACCESS】
NPO法人 体験型科学教育研究所
〒157-0007
東京都世田谷区祖師谷3-17-22
フラウド成城302号室
TEL 03(34882) 8020
FAX 03(34882) 8020
http://www.taikenkagaku.org/

【企画連載】社会教育団体紹介

真摯にそして楽しく、自ら動くをモットーに

NPO法人体験型科学教育研究所 専務理事 古川 和

1. 概要と活動の目的

NPO法人体験型科学教育研究所（通称リアルサイエンス）として株式会社東芝の支援を受けて活動を開始したのは平成18年、今年で8年目を迎えます。当団体名に変更する前の15年間専務理事である古川が代表をしてきた「Teaching kids to love the Earth」という団体で、アメリカのUCバークレーで開発された体験型科学教育GEMSの普及や、アウトドアの活動を通じて体験型教育の普及に努めてきました。

リアルサイエンスの理事長は数学者秋山仁、現在は東京理科大学理数教育研究センター長です。「発想の泉を掘り起こす」目からウロコのユニークな体験型の算数・数学教育の講演会、教員の指導に当たられ、昨年理科大学にオープンした数学体験館館長も兼務、さらにご自身の研究にも日々邁進されています。

このエネルギーシユな代表のもと、リアルサイエンスの活動は見えない学力、剥がれ落ちない学力を身につけさせたいと、

主体性を重んじる学習意欲が増す教材と教授法を全国に普及することを目的に活動をしてい

ます。主な事業は教員研修、教材開発ですが、科学教室やイベントの企画と運営も行っています。その活動の場は科学館、学校、そして野外、対象は幼稚園から小中学校、高校生、ボランティアの大学生、株式会社東芝社員はじめ社会人、教員向け事業と多岐にわたっています。参加者数は多い年では6万人を超えています。

今年度の主な活動は以下の通りです。

- ①子供達に直接関わる場として、東芝科学館や渋谷区こども科学センターハチラポでのワークショップや常設展示、子供向けサイエンスサマーフェスティバル
- ②指導者、教員対象の主催事業として「リアルサイエンスマイスター養成講座」開催
- ③教育委員会との連携事業、年間を通じての研究授業と研究協議
- ④マイスター研究大会と科学教育フォーラムの開催

⑤体験型の教材やカリキュラム作成

2. 注力している活動—教育委員会連携事業

今、最も力を注いでいるのは市町村教育委員会との連携です。学校現場の教育課題を解決すべく、我々が年間を通じて伺い、授業実践を行ったり、アイデアをお出しして、先生方と共にそれをブラッシュアップしていったり、ヒントにしていただき、より良い授業を目指していただくよう、活性化のきっかけとなるよう努力しています。

今年度は北海道十勝東部地区、秋田県由利本荘市、愛知県東海市、岡山県瀬戸内市、宮崎県延岡市など全国から委託を受け学校現場に赴き、1年間かけて授業作りのお手伝いをする予定です。例年夏季、冬季休み中には各地で2日間のマイスター研修会も開催し、リアルサイエンスが提唱する体験型理科教育を受講してもらっています。教育委員会同士のネットワークも徐々にできてきて、先生同士お互い

きませんが、他団体に類を見ないのではないのでしょうか。

4. これからの目標

設立当初のビジョンにあるように、日本の教育を世界に発信するグローバルセンターとなることを目標にしています。これまでに開発してきた教材のベスト30トピックを2時間でできる授業とし、ワークシートも小中、高校生向けに作成、理数の授業や土曜授業などに活用してもらえようように使いやすく、身近なもので、何より面白い内容の教材を作成します。

今年度は体験型授業では先進国のアメリカとコラボし、英語教材も同時に作成し、主に東南アジアでの活動を目指します。まずはタイとの連携を目指しています。